

国語について

■小学校国語

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- ▼ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することや、資料を引用して考えを書く力が不足している。
- ▼ 文章全体の構成や展開を捉える力や、文章中の情報と情報との関係を捉える力が不足している。

■中学校国語

- 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができる。
- 気持ちがより伝わるように、表現の効果を考えて描写することができる。
- ▼ 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉える力や、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する力が不足している。
- ▼ 文章の展開の意図を説明したものとして段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫する力が不足している。

◆《問題別調査結果より》

文章や資料から根拠となる情報を取り出し、それらを関連付けながら正しく自分の考えを表現する力に課題が見られます。話し合いの内容を踏まえて意見をまとめたり、文章の改善点を説明したりするなど、読解した内容を活用して表現する力の向上が必要です。

アドバイス

日常の授業において、答えだけでなく、「なぜそう考えたのか」も大切です。本文や資料の中から根拠になる部分を見つけて、自分の考えと結び付けて説明してみましょう。

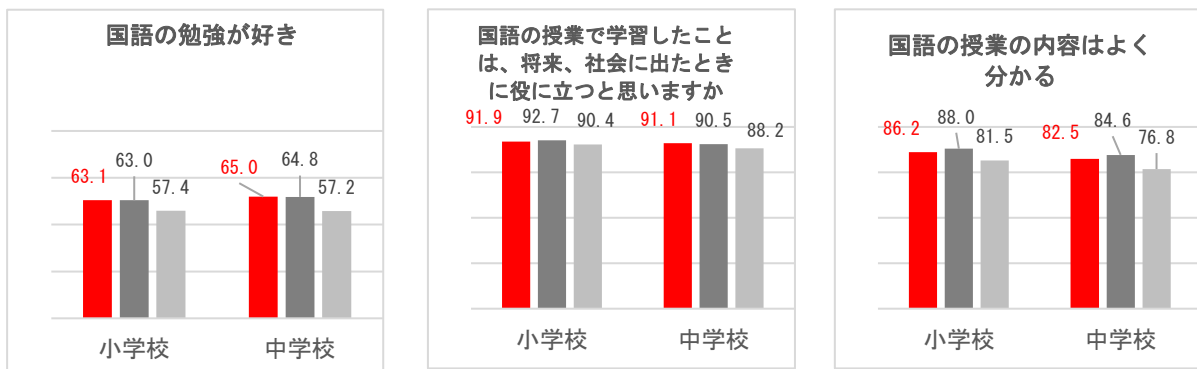
◆《国語に関する質問調査より》

小中学校共通して、国語の授業内容を理解し、その学習が将来に役立つと認識している児童生徒は多いです。一方で、国語を「好き」と感じている割合はそれらに比べて低く、「分かる」「役立つ」を「好き」「もっと学びたい」へつなげる授業づくりが課題です。

アドバイス

自分の考えをノートや文章に書いたり、友達と伝え合ったりする機会を大切にして、言葉で表現する楽しさを見つけましょう。

■鯖江市 ■福井県（公立） ■全国（公立） 数値は%



算数・数学について

■小学校算数

- 数を四捨五入して、概数で表すことができる。
- 帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができる。
- 小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができる。
- ▼ 百分率で表された割合と比較量から、基準量を求める力が不足している。
- ▼ 直方体の箱の形を構成する面の形成や体積の空間認識力が不足している。
- ▼ 図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述する力が不足している。

■中学校数学

- 具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができる。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。
- ▼ 事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること力が不足している。
- ▼ 筋道を立てて考え、証明する力や、証明する事柄の仮定を見いだす力が不足している。

◆《問題別調査結果より》

小学校では、割合や立体、体積などの概念を活用しながら考え、その考え方を説明する力に課題が見られます。中学校では、証明やデータの分析結果について根拠を示しながら数学的に説明する力に課題が見られます。

アドバイス

図や表、操作活動を使って考えたことを、「なぜそうなるのか」まで説明することを意識してみましょう。証明問題では、「わかっていること（仮定）」「言いたいこと（結論）」「その理由（根拠）」を整理しながら考えると、説明しやすくなります。

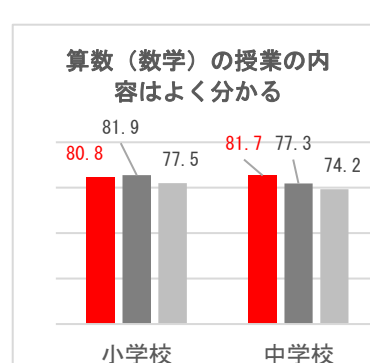
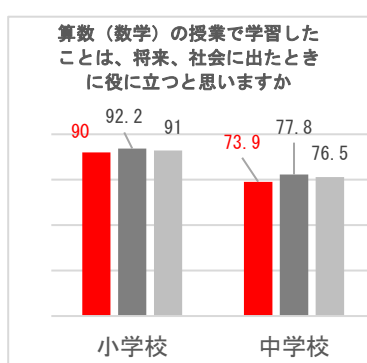
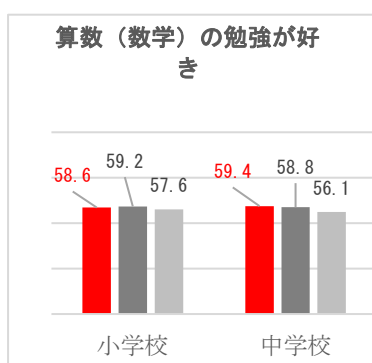
◆《算数・数学に関する質問調査より》

小中ともに、算数・数学の授業内容を理解している児童生徒が8割を超えており、学習内容の定着が図られています。一方、算数・数学を「好き」と感じる割合は6割程度にとどまっており、特に中学校では、学習内容が将来に役立つと感じる生徒の割合が小学校より低いです。

アドバイス

算数・数学は、買い物やゲーム、スポーツ、仕事など、身の回りのさまざまな場面で使われています。学んだことがどんな場面で役立つかを考えながら学習してみましょう。

■鯖江市 ■福井県（公立） ■全国（公立） 数値は%



英語について

■中学校英語（共通問題について）

- 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、および読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
- 社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができる。
- ▼ 社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書く力が不足している。
- ▼ 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用する力が不足している。

◆《問題別調査結果より》

英語を聞いたり読んだりする際に、単語や文を部分的に理解するだけではなく、話し手や書き手が伝えたい要点を捉えたり、複数の情報を整理して必要な内容を読み取ったりする力が身に付いています。一方、英語の内容を理解する力に比べて、それを英語で適切に表現する力に課題が見られます。

アドバイス

英語の内容を正しく理解する力を強みとして生かしながら、読んだことや聞いたことをもとに、自分の考えや理由を英語で表現する学習に取り組み、英語で伝え合う力をさらに伸ばしていきましょう。

◆《英語に関する質問調査より》 ※一部の質問で、小学校の回答あり

小学校では英語に触れる機会が比較的多く、英語の必要性を理解している児童が多い一方、中学校に進むにつれて英語学習への意欲が低下し、将来の活用場面を具体的にイメージしにくくなっています。

英語を実際に使うことにチャレンジし、いろいろな人との交流を通して、自分の思いや考えが伝わる楽しさや、英語が将来の夢や仕事につながる大切な力であることを感じていきましょう。

